

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	2	14	水	9:00	16:30	脚折菜園・逆木倉庫	7
活動名称	小彼岸桜根巻作業・逆木倉庫棚設置					報告者：小沼	

<活動目的>

3年目の小彼岸桜の根巻作業と会員間で育苗してきた苗の脚折菜園への移植。
逆木倉庫のB倉庫に棚を設置。

<主な活動内容>

(脚折菜園)

- 会員自宅で育苗してきた小彼岸桜苗は、橋本さん27本、小嶋さん2本の計29本しか生育しておらず、今年の会員育苗は非常に厳しかったといえる。(当方も育苗してきた5本を持参したが、すべて枯れていた。)
- 今年は、脚折菜園に移植する苗数が少ないことから、脚折菜園で育苗してきた3年目の苗は根巻せずに、そのままの状態での育苗することとした。
- ただし、4月20日開催の東市民センター結桜祭に配布予定の苗(10本)については、プラポットに移植し、脚折菜園に埋めなおした。4月20日に搬送する予定。
- 上記の29本は苦土石灰・腐葉土・牛糞を入れたマルチの苗床を作り移植した。苗は支柱で縛るとともに十分に注水した。
- 越生のさくら公園から頂いた小彼岸桜以外の苗から新芽を小彼岸桜に接木し、桜の種類を増やすことを進める。(作業は3月中の予定)
- 作業は11時過ぎに終了できた。

(逆木倉庫)

- B倉庫の棚は空きスペースがあり、新規の棚を設置することが可能であった。
- 床材を購入し、垂木をボルトナットで固定するとともに、ビス止めで3枚の棚を新設することができた。
- 6個のコンテナも購入し、物品管理場所スペースを拡充できた。(更に5個のコンテナを置くスペースがある。)

<課題・評価>

- 太田ヶ谷のロボティックセンターや決定した進出企業には、周辺道路沿いに桜を植樹する需要があり、当クラブとして更に桜苗木の育苗が必要であるが、7年目となる試行錯誤でも生き物の取り扱いの難しさを感じる。
- 逆木倉庫の整備は取組が進みつつあるが、会員による担当を明確にし、会員全員で管理運営する体制にいかんしていくかが課題となっている。

<里山参加会員>

(脚折菜園)

内藤、橋本、村上、杉山、小嶋、小沼 (阿部)

(逆木倉庫)

内藤、橋本、小嶋、小沼、 (牛島)

<活動写真>



植樹した 29 本

プラポット



3 枚の棚設置